

令和7年3月29日

関係者様

令和6年度 前年度の改善方策について実行した改善結果

昨年、学校関係者評価委員会からいただいた貴重なアンケートデータに基づき、重点目標として掲げた3つの改善方策について、着実に進めてまいりました。

【学校の重点目標について】

- 1 「かかわり合う活動の充実による自分づくりのできる子ども育成」については、特別活動の充実を図り、児童が自身の強みや才能を認め、自信を持つことができるよう努めました。結果として、5年生の児童の「自分の良さの実感」に対する肯定的回答は8割に迫り、目標達成に向けて着実に近づいていると感じています。6年生の回答は少し減少傾向にありますが、継続的な指導の効果ができていると信じています。
- 2 「学習内容がわかり、できると実感し、論理的に考え、表現する子どもの育成」では、主体的・対話的な学習を進めることで、児童が自ら考え、表現する力を高めることに重点を置きました。その結果、目標の8割に迫る肯定的回答を記録することができました。特に、1年生から4年生の児童の肯定的回答は7割を超え、5、6年生も8割に近づいており、年代的に見ても着実に改善が見られます。
- 3 「自分の身体づくりに関心をもち、進んで運動する子どもの育成」では、体育やわくわくタイムの内容を充実させ、休み時間の遊びを奨励することで、運動への意欲を高める取り組みを行いました。その結果、5年生、6年生ともに7割を超える肯定的回答を記録し、目標達成に向けて大きな前進を遂げました。

今後も、児童一人ひとりの成長を促し、より良い学校環境づくりに努めていきます。